



NetCommons 上に従来のページデザインを再現



NetCommons を採用したホームページです。もともとあったホームページのイメージや構成を活かし、CMS上に従来のホームページデザインを再現しています。HTML で記述されていた各ページのコンテンツも、モジュールを活用しそのまま移行しています。リニューアルといった印象を与えない、とてもスマートな全面移行です。運用に当たっては、ホームページ公開ガイドラインを作成し、また、写真などの掲載に際しては著作権や肖像権にも配慮しています。（44 ページ以降の「5 参考資料」参考）

- 1 **学校名** 那須町立芦野小学校
研究協力委員 中川 幸夫 教諭

2 従来のホームページ状況

(1) サーバ環境

那須町教育委員会の担当者と交渉し、従来の OCN との契約を「メール&ウェブ Advance」に変更
 サーバ容量 600M 独自 CGI (Perl, UNIX SH, KSH, CSH) 使用可
 データベース (MySQL) インストール済み (データベースは、Perl か PHP を使う以外は、SQL によるコマンド操作のみ)

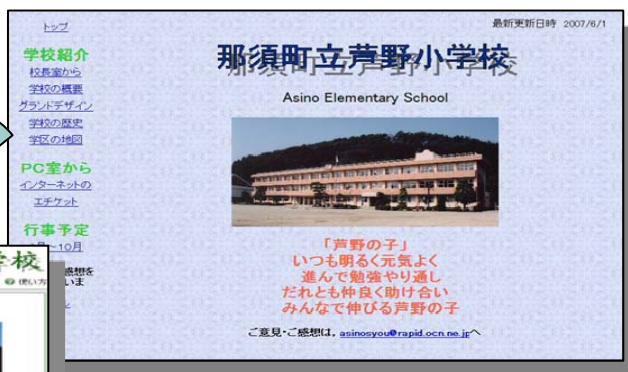
3 CMSによるホームページの構築

(1) ホームページの構成

芦野小学校では、これまでのホームページの内容を生かしつつ、CMS を利用した学校ホームページへ全面移行することにした。また、従来からある芦野小学校のホームページのデザインを、なるべく踏襲するかたちで構築を進めた。これまでのホームページの年間ではほとんど固定される画像や文章は、従来と同様のレイアウトを CMS で再現し移行した。これは、以前のホームページが簡単な構造であり、変更することが少ない内容であることが幸いした。これまでの HTML で書かれたページの内容は、ほとんど手を加えることなくほぼそのまま、**【お知らせ】** モジュールに移行することができた。

【学校紹介】

- ・「校長室から」
- ・「学校の概要」
- ・「グラウンドデザイン」
- ・「学校の歴史」
- ・「学区の地図」



左にメニュー画面、
右にメイン画面を持つ2ペイン構成

(2) 構築における留意点

XOOPS にはない **GroupRoom** という概念を持ち、各ページの上に複数のモジュールをポートレットとして配置することが可能である。ただし、その分インストールするファイルが多くなり、サーバの容量を使う(約 80M)ことが難点である。

また、インストール中にデータベースを作成するので、データベースにアクセスする ID やパスワードを調べておく必要がある。

(3) 初期設定のポイント

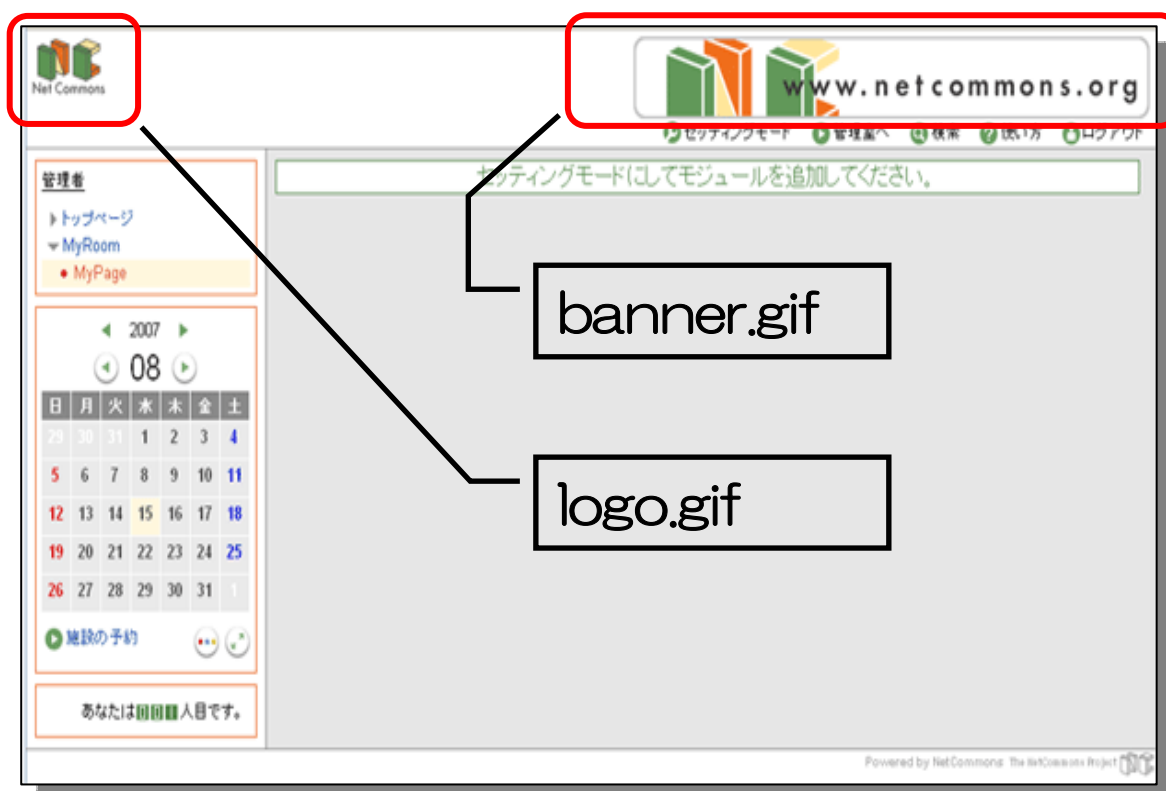
トップページを作成するには、ヘッダー部分に表示する画像が必要となる。最初は、ヘッダー左側の **logo.gif**、右側の **banner.gif** をインストールされたときの画像と交換する。この画像が大きすぎると、コンテンツを表示する面積が少なくなるとともに形が崩れてしまう。表示するブラウザをどの程度の大きさと想定するかによって違うが、2つの画像の横幅の合計は 800 ピクセル未満で、**logo.gif** より **banner.gif** が 50 ピクセル低いとちょうどよくなるようだ。また、この2つの画像には、<http://www.netcommons.org/>へのリンクが張られているので、**テーママネージャ** でリンク先 URL を表示したいサイトに変更する。

また、バージョン 1.0.x では、サブタイトル「Making Creative Use of the Internet」は、データベースに設定されている。変更する場合は、以下の SQL 文を phpMyAdmin か MySQL コマンドで実行する必要がある。なお、新しい 1.1.x 以降のバージョンは、変更機能を備えている。

(XOOPS_DB_PREFIX は、mainfile.php の設定を参照)

```
UPDATE (XOOPS_DB_PREFIX)_config SET conf_value='変更する文' WHERE conf_id=2
```

上部にどのページでも変わらないヘッダー部分、左下にメニュー部分、右下に半分以上を占めるコンテンツ部分、下部にフッター部分が 1 行ある。メニューが左右にあるレイアウトは、メインコンテンツの面積が狭くなるので採用しなかった。また、画像の多い **日誌** などをトップページにするレイアウトも考えられるが、最初に多くの画像を読み込むことで、動きが重くなることから採用しなかった。



NetCommons インストール後の初期画面

4 CMSによるホームページの運用

(1) 各モジュールの特長

【お知らせ】

一つのモジュールで掲載できる記事が一つで、変更すると前の内容は消えてしまう。前に掲載した内容を残したまま別の記事を載せたい場合は、モジュールを追加する必要がある。どちらかというに変更しない内容をずっと表示したい場合に使用するといいだろう。HTML のタグに対応しており、従来のサイトデザインを活かして移行したい場合にも対応できる。本校のトップページに使用している。

【日誌】

モジュールは、記事を不定期に掲載していくために最適である。画像のアップロードや HTML のタグにも対応している。新しく投稿した記事が一番上になり、管理者による承認機能や閲覧者によるコメント書き込みができる。【お知らせ】モジュールと違って、記事ごとにモジュールを追加する必要はない。投稿することのできる閲覧者を制限することができる。本校の「お知らせ」と「芦野小だより」、保護者用【GroupRoom】の中で使用している。

【掲示板】

ある内容について意見を求めるような場合に有効で、返信という機能を利用して閲覧者が意見を投稿できる。投稿することのできる閲覧者を制限することができるが、どのような使い方が有効なのか不明だったために、本校では使用していない。

(2) 運用体制

記事などの承認権限を持つ「管理者」は、校長、教頭、ホームページ担当者の3名とした。新規記事の投稿権限を持つ「主担」は他の教員、記事に対する投稿ができる「一般」を登録保護者としている。他に「トップページ管理者」や「ゲスト」の会員権限もあるが、現在のところ使用していない。

また、記事の分担は、全校行事など一教務、PTA 行事一教頭各学年一学年担任、学年にまたがる行事一担当者または教務、その他一ホームページ管理者が投稿することとした。

(3) 運用のポイント

ホームページ担当者が、すべて記事の作成とアップロードを行うのは負担が大きく、担当者が異動した後の更新にも問題が生じるおそれがある。運用体制として指定した担当者が記事を投稿し、ホームページ管理者がサポートする方が理想である。「管理者」は、担当者の投稿を吟味し、内容に誤りなどがなければ承認するというだけの関わりにすることで、事務手続きが軽減される。

ホームページに写真を掲載するに当たっては、著作権と肖像権に注意する必要がある。本校では、ホームページ公開ガイドラインを作成するとともに、「写真・ビデオの取扱い」や部活動の大会成績などの



公表について」を配付し、保護者に了解を取った上で掲載している。

学校の所在地・連絡先には、メールアドレスを表示しているが、スパム対策としてメールアドレスをgif ファイルで表示している。テキストで表示するよりは収集される危険が減ると期待している。

5 活用事例

(1) モジュール活用例（『バックアップ』モジュール）

CMS は今までのホームページと違って、ホームページのファイルが手元のパソコンに残っているわけではない。書き込んだ内容や画像はサーバに保存されているので、サーバに不具合があった場合に回復ができない。そのため、定期的にバックアップを取って保存しておく必要がある。そのために管理者の『MyRoom』にある『バックアップ』モジュールを使用する。作成ボタンを押してしばらく待つとバックアップファイルが作成されるので、手元にダウンロードして保存しておくといよい。

(2) 『GroupRoom』の活用例

保護者用ルームを設置し、学校だより、各学年だよりをPDF 形式に変換してファイルを『キャビネット』に保存している。保護者会員として登録されている人数が少ないために、まだ利用は少ないが、今後は利用する保護者会員が増えてくるものと考えている。

(3) その他

保護者会員は、メールか連絡帳で連絡のあった場合に、申込書に記入してもらってから登録している。これは、申請者が保護者であることを確認するためである。また、セキュリティを高めるため、各保護者ごとのID を登録し、ランダムパスワードを発行して保護者に通知している。

6 まとめ

(1) メリットとデメリット

- ・ ホームページの管理と更新がしやすくなるメリットがあるが、サーバにある程度の容量とデータベースが使用できるなどの環境が必要となる。頻繁に更新し、学校の様子を保護者地域に公開できることは、CMSを使う最高のメリットの一つである。しかし、サーバについては、予算が伴うので行政側の判断が必要であり、学校だけでは決定できない点が課題に上げられる。
- ・ アクセス数が非常に多いのはうれしいことであるが、保護者数から考えられるアクセス数以上であり、どのような閲覧者がいるのか不安がある。アクセス解析などを行うことで実態を把握していく必要がある。
- ・ 学校や学年での行事や活動の様子を細かくアップロードしているので、保護者が素早く情報を得られる。また、会員として登録している保護者は、学校だよりや各学年だよりをダウンロードすることができる。
- ・ HTML の知識なしに簡単な操作で画像付きの記事を投稿できるので、更新率を上げることができた。
- ・ 学校の保護者以外にアナウンスはしていないが、アクセスカウンターの動きが速く、11 月 29 日現在で 11 万アクセスを超えている。ほぼ5か月の運用なので、月にすると2万アクセスとなる。同じパソコンからのアクセスは、一定時間はカウントアップしないが、重複を考えても月に延べ1 万人が見ていたことになる。

(2) 今後の課題

- ・ ホームページを学校の情報発信の道具として使う用意はできたが、今後も同じように更新していくことが一番の課題である。子どもたちの生き生きとした活動をいかに伝えていくかを、継続して研究していきたい。
- ・ 保護者と情報を共有できるツールであることを有効に生かしているとは言い難い。会員となっている保護者が少ないのも情報共有ができない問題点となる。今後は、保護者の会員の登録についてどのような形態がよいのか研究すべきであろう。